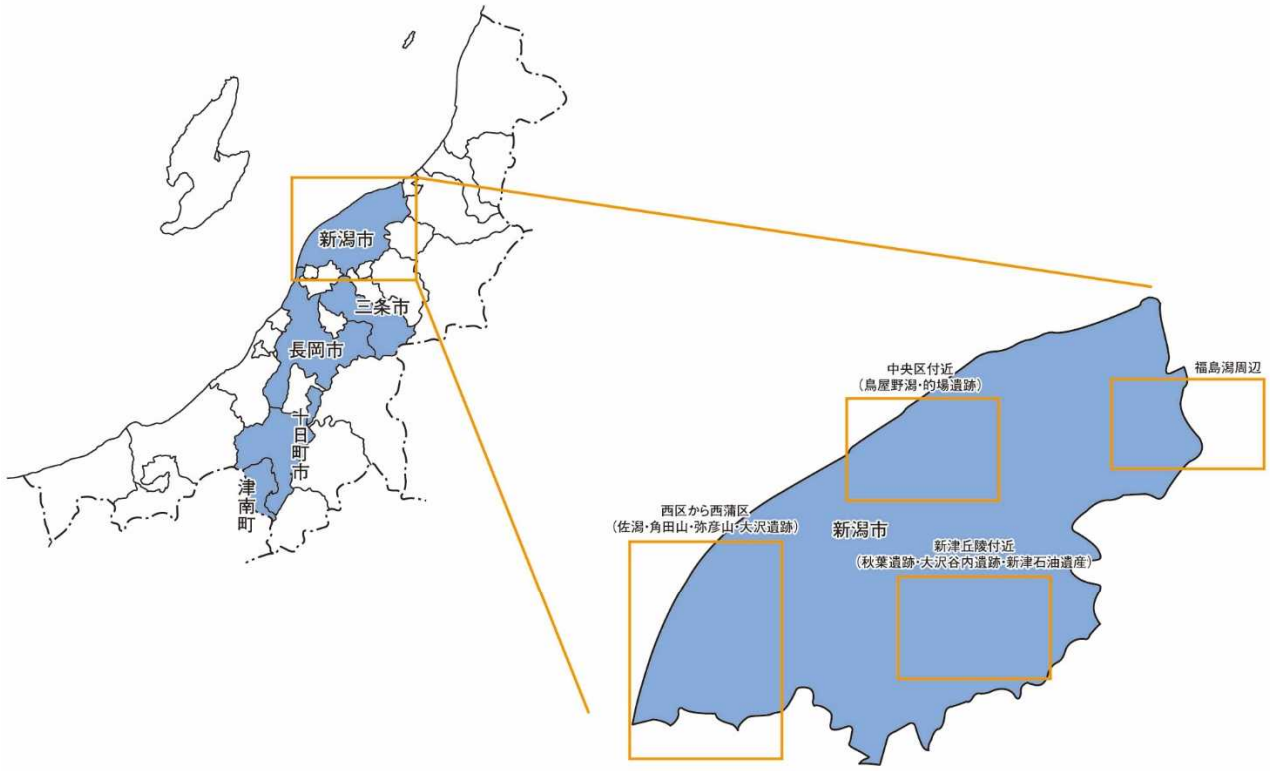
（様式１－１）

① 申請者	新潟市・◎三条市・ 長岡市・十日町市・ 津南町	② タイプ	地域型　/　シリアル型 A　B　C　D　E

③ タイトル
「なんだ、コレは！」　信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化
④ ストーリーの概要（２００字程度）
日本一の大河・信濃川の流域は、8000 年前に気候が変わり、世界有数の雪国となった。この雪国から 5000 年前に誕生した「火焔型土器」は大仰な４つの突起があり、縄文土器を代表するものである。火焔型土器の芸術性を発見した岡本太郎は、この土器を見て「なんだ、コレは！」と叫んだという。火焔型土器を作った人々のムラは信濃川流域を中心としてあり、その規模と密集度は日本有数である。このムラの跡に佇めば、5000 年前と変わらぬ独特の景観を追体験できる。また、山・川・海の幸とその加工・保存の技術、アンギン、火焔型土器の技を継承するようなモノづくりなど、信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。火焔型土器は日本文化の源流であり、浮世絵、歌舞伎と並ぶ日本文化そのものなのである。
⑤ 担当者連絡先

担当者氏名	三条市市民部 生涯学習課 文化財係 田村浩司　※信濃川火焔街道連携協議会事務局		
電　話	（０２５６） ４６－５２０５	FAX	（０２５６） ６４－８８８２
E-mail	shougaigakushu@city.sanjo.niigata.jp		
住　所	〒955-0166　新潟県三条市上大浦 670 番地　埋蔵文化財調査室		

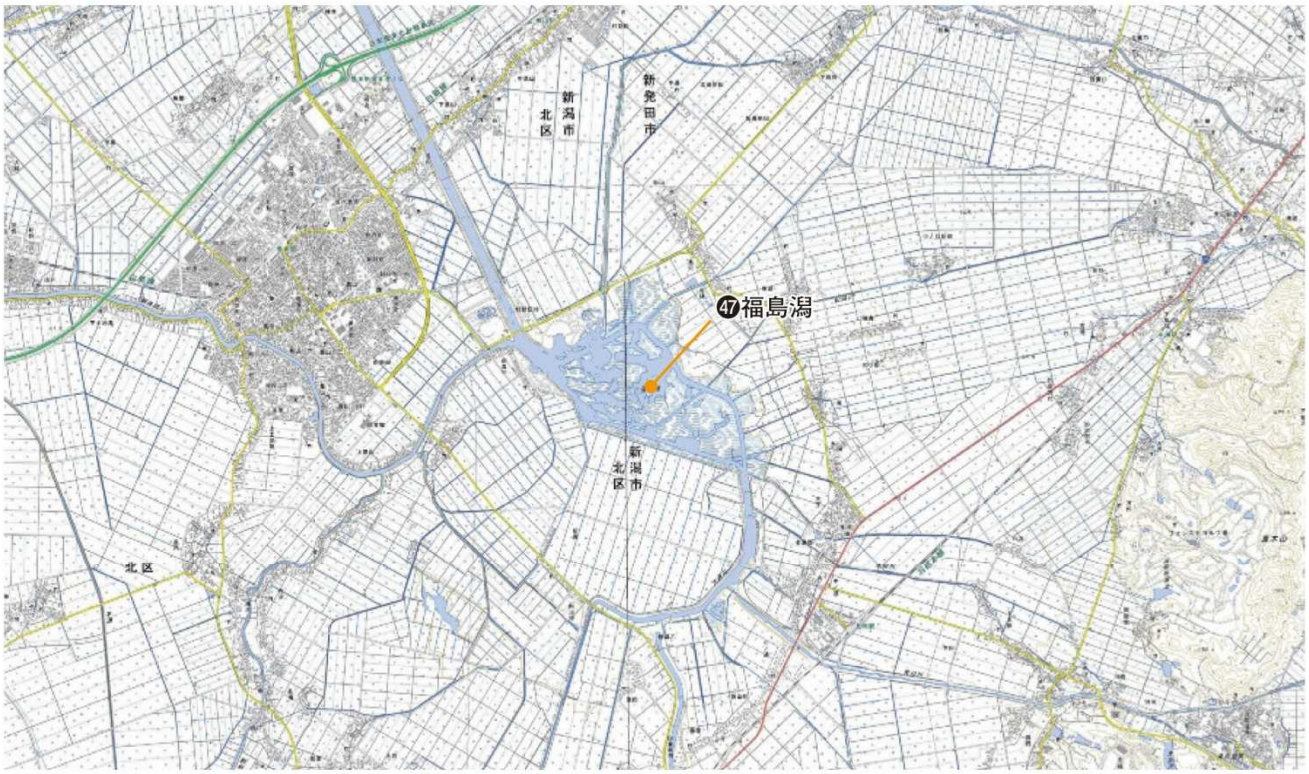
市町村の位置図（新潟市）　　（1/10）



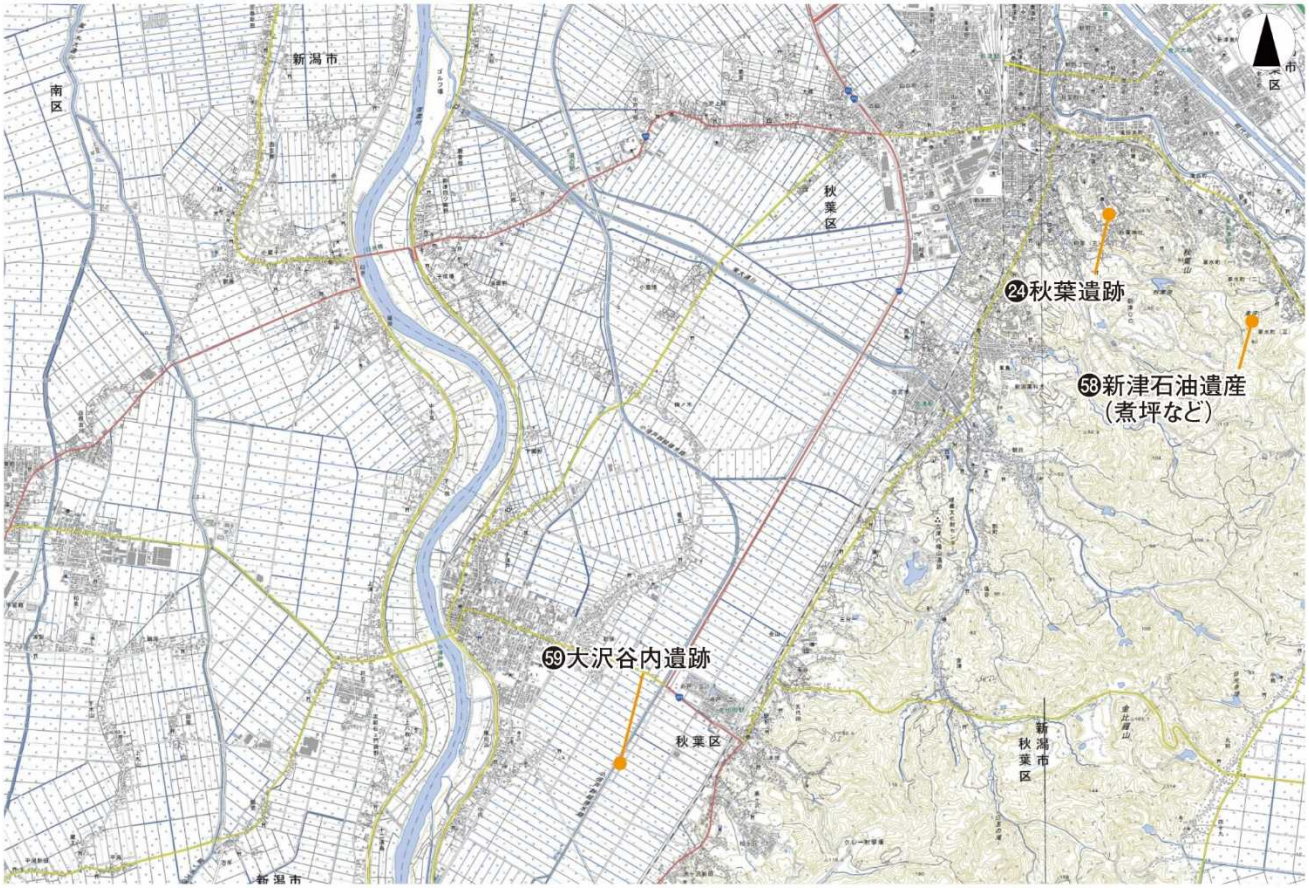
中央区付近（鳥屋野潟・的場遺跡）

市町村の位置図（新潟市）　　(2/10)

福島潟周辺

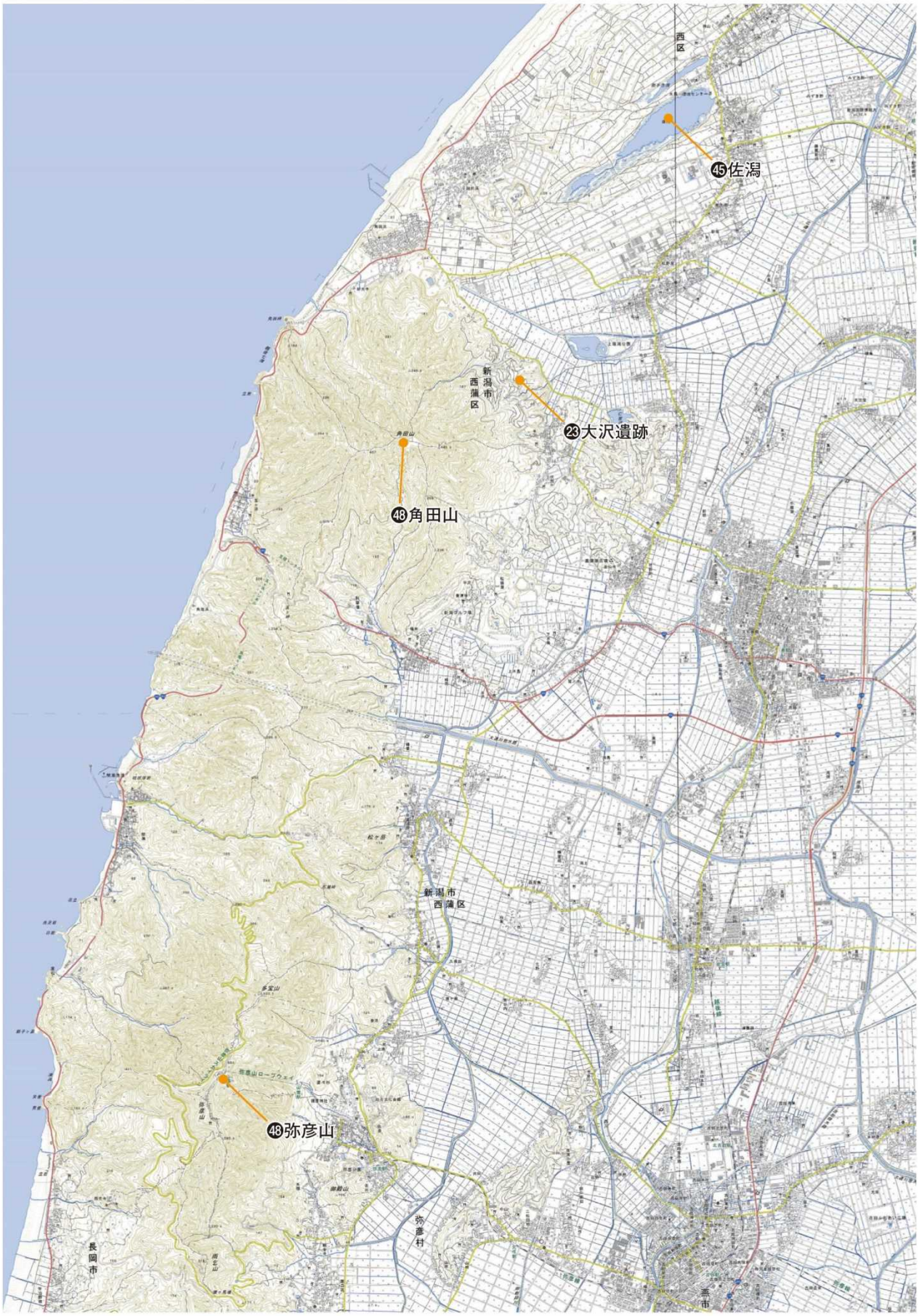


新津丘陵付近（秋葉遺跡・大沢谷内遺跡・新津石油遺産）



市町村の位置図（新潟市）　　(3/10)

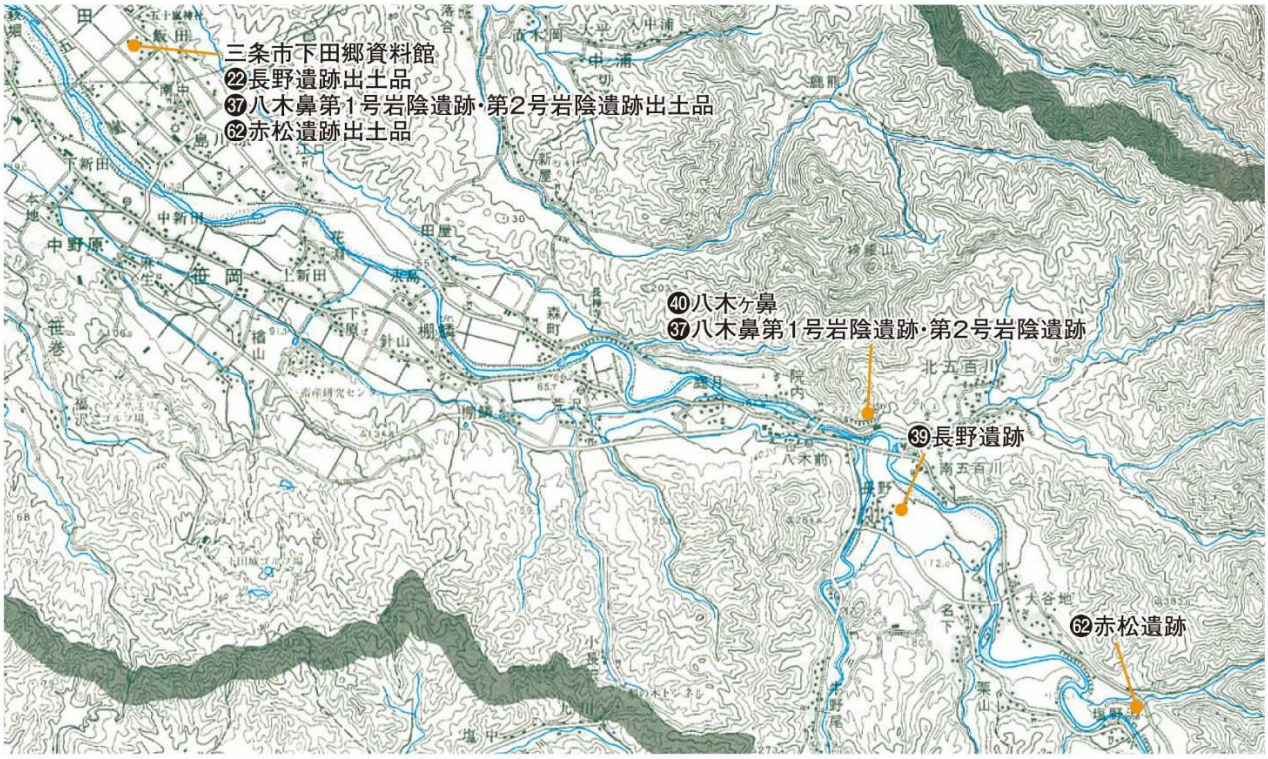
西区から西蒲区（佐潟・角田山・弥彦山・大沢遺跡）



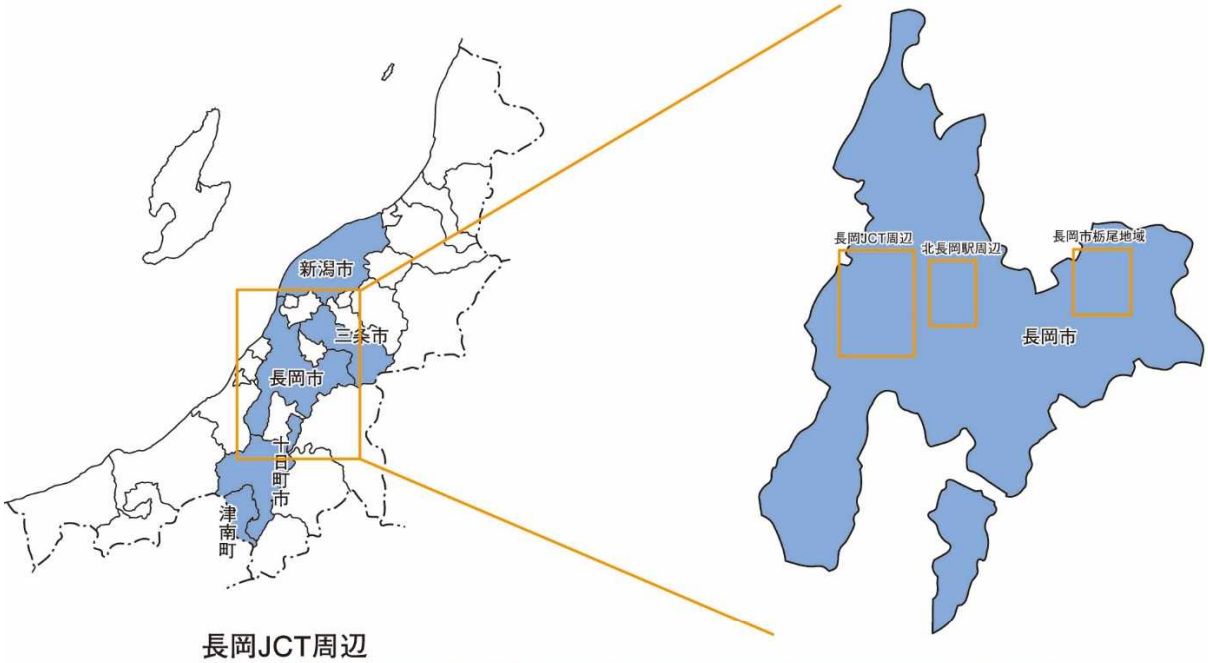
市町村の位置図（三条市）

三条地域

下田地域



市町村の位置図（長岡市）



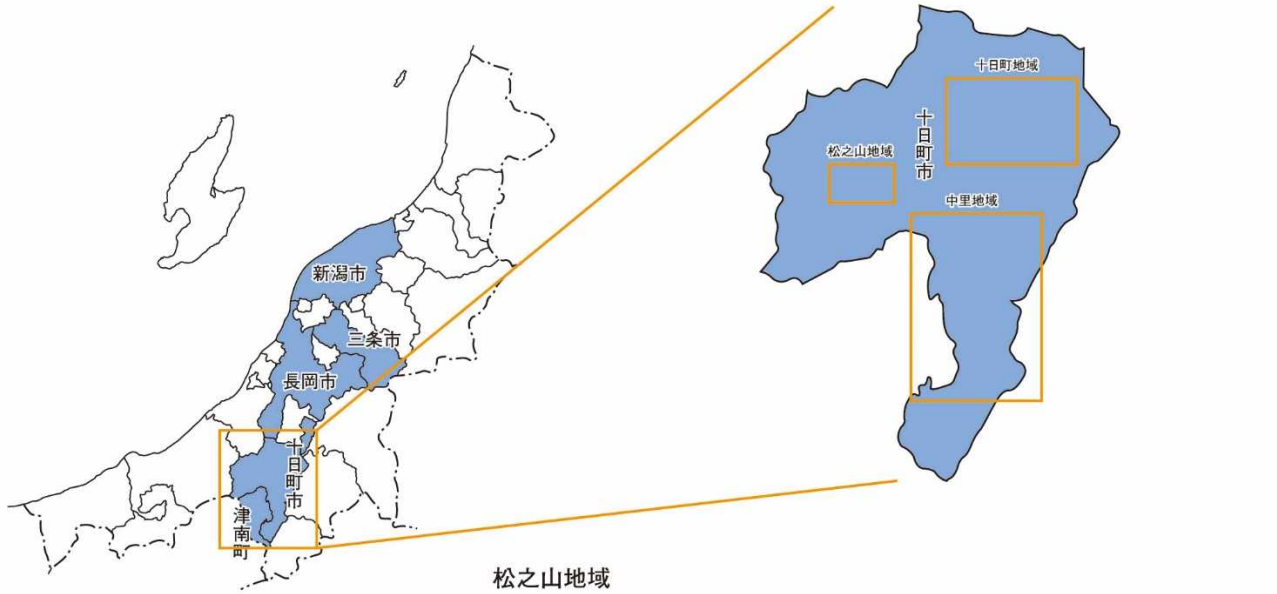
長岡JCT周辺

市町村の位置図（長岡市）　　(6/10)

北長岡駅周辺

長岡市栃尾地域

市町村の位置図（十日町市）

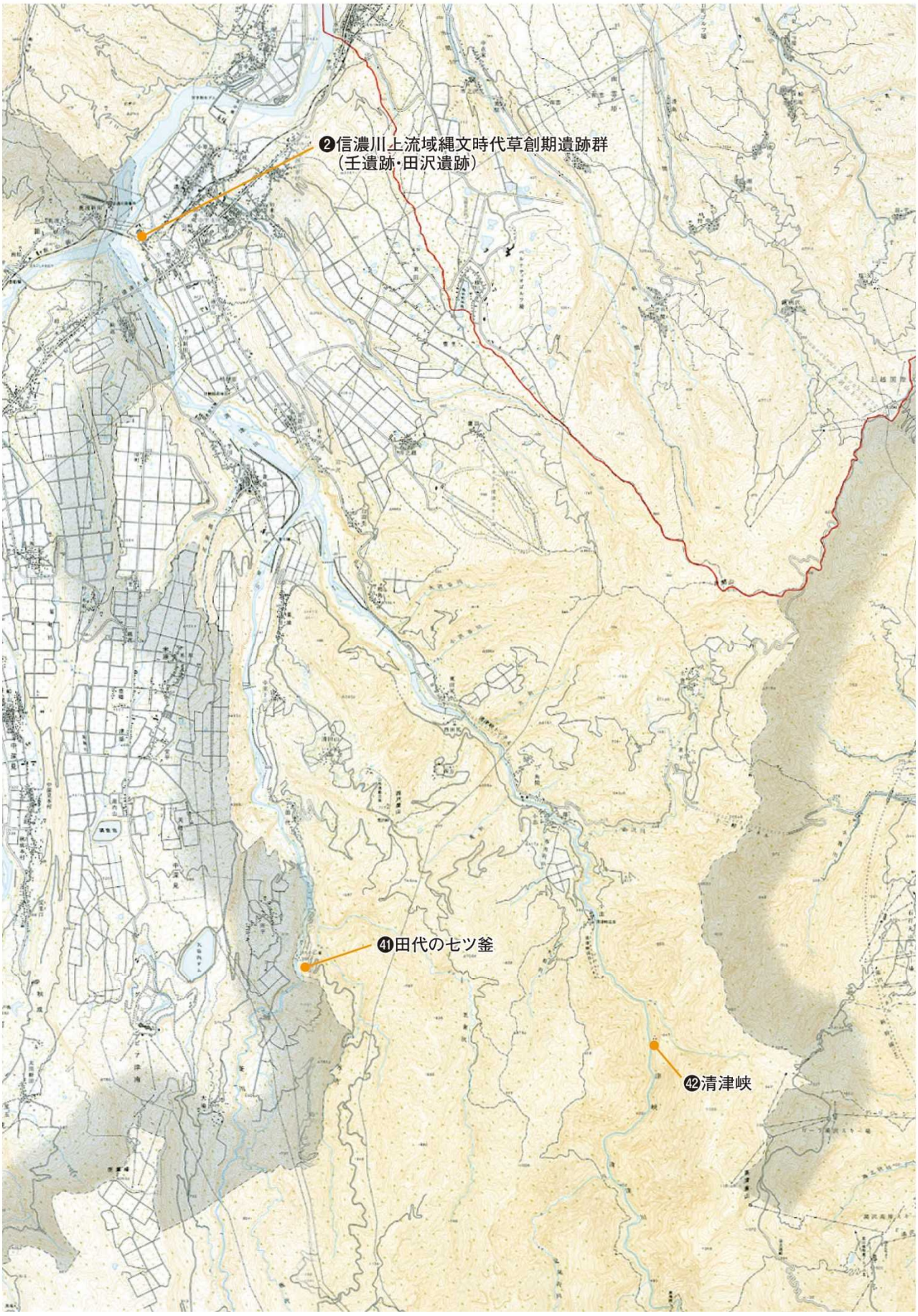


松之山地域

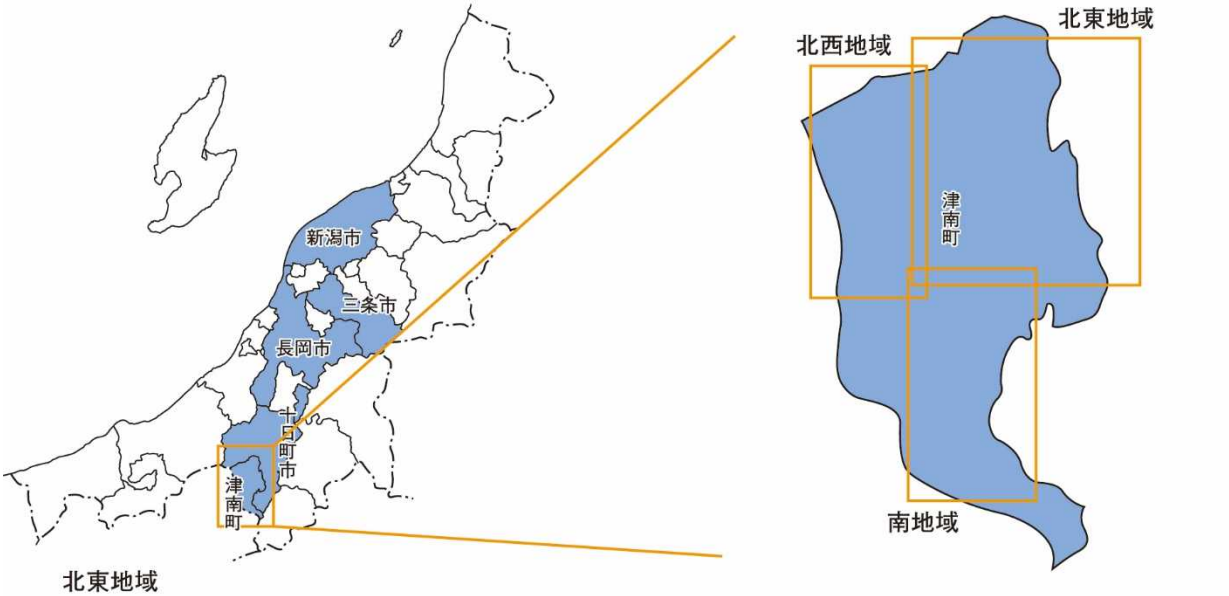
十日町地域

市町村の位置図（十日町市）　　(8/10)

中里地域



市町村の位置図（津南町）

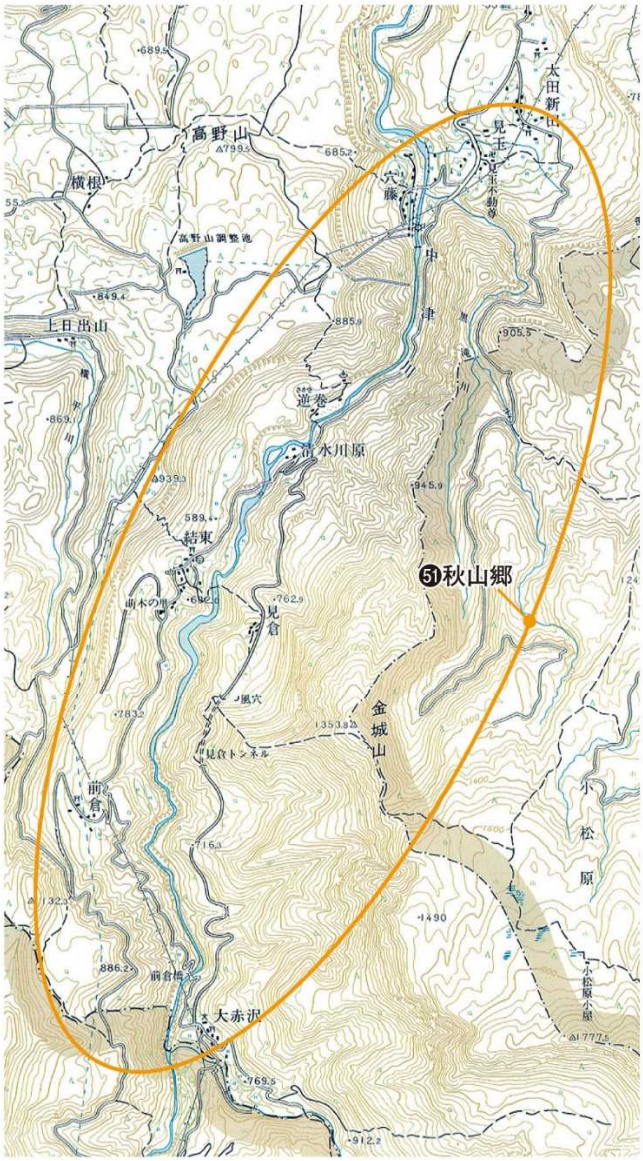


北東地域

市町村の位置図（津南町）

北西地域

南地域



ストーリー

１　世界有数の雪国に生まれた火焔型土器

国宝 笹山遺跡出土火焔型土器

新潟県を南から北に流れる信濃川は、総延長 367km におよぶ日本一の大河である。その広大な流域を選んだ 1 万 3000 年以上前の人々は、世界に先駆けて土器づくりを始めた。縄文時代の幕開けである。特に上流域では、この時期の遺跡が全国的に見ても多く密集している。豊かな森と水に恵まれ、多種多様な動植物の宝庫となった信濃川流域には、1 万年ものあいだ途切れることなく、自然と共生する縄文人の営みが見られた。

信濃川流域の縄文人たちは、8000 年前に大きな環境変化に見舞われた。日本海に対馬暖流が流れ込んだ影響で、雪が多く降るようになったのである。現在に続く世界有数の雪国は縄文時代に誕生した。豪雪は縄文人の生活を阻む半面、四季の瑞々しい美しさを生み、人々の感性や発想を豊かに育んだ。

そして、この雪国から縄文時代中期の 5000 年前に誕生したのが「火焔型土器」である。力強く燃える焔、また見る者によっては水の流れや波などをイメージさせる意匠、造形は圧倒的である。この造形の中で「突起」を持つということが縄文土器の特徴であり、中でも特に大仰な４つの突起を持つ火焔型土器は縄文土器を代表するものである。大仰な突起は、煮炊きする具の出し入れにはかえって邪魔になる。つまり現実の用途にかなった器ではなく、縄文人の世界観から紡ぎだされた観念を表現した器なのである。古今東西の焼物の中で突起を持つものは、火焔型土器に代表される日本の縄文土器だけであり、世界の中で際立った存在である。縄文文化は、日本文化の源流であり、その意味で火焔型土器は浮世絵や歌舞伎とともに、日本文化そのものなのである。

この火焔型土器の美を最初に発見したのは、芸術家・岡本太郎であった。「縄文土器の荒々しい、不協和な形態、紋様に心構えなしにふれると、誰でもドギッとする。なかんずく爛熟した中期の土器の凄まじさは言語を絶するのである。」の書き出しで始まる『縄文土器論』を記した太郎は、火焔型土器を見て「なんだ、コレは！」と叫んだという。そして、「火焔土器の　激しさ　優美さ」の言葉も残している。太郎を驚愕させた火焔型土器はほぼ新潟県域にしかなく、その本場が信濃川流域である。それはまさにこの地が「火焔土器のクニ」であり、山、川、海を通じた周辺地域との交流点であったからである。

２　火焔型土器のふるさと新潟

火焔型土器を作った人々のムラは、信濃川流域の河岸段丘上にあり、その多くは湧水の近くに作られた。中央の広場を囲むように 50 軒ほどの竪穴住居が配置された直径 100mほどの「環状集落」である。

馬高遺跡復元竪穴住居

祭祀の場にもなった広場を中心に、馬蹄形に竪穴住居がめぐり、住居と広場の間には穴を掘って死者を葬った墓地が見つかっている。さらに木の実などを保存した貯蔵穴が並び、ムラのはずれには使われなくなった道具などを廃棄したゴミ捨て場、獣を追い込んで捕えた落とし穴もある。そのゾーニングは、整然として極めて計画的である。

縄文時代中期の遺跡が信濃川流域では 400 箇所以上も発見されており、この地のムラの規模と密集度が、日本有数であったことがわかる。また、これらの遺跡からは、

火焔型土器と同時期の土偶やヒスイの大珠など豊富な種類の祭祀の道具が多量に出土しているが、全国的にはあまり多く出土せず、この流域の縄文文化の特徴となっている。現在でも信濃川流域には、清津峡や八木ヶ鼻、弥彦山・角田山、河岸段丘、潟湖など、縄文時代からの景観が手つかずのまま残されている。縄文人が暮らしたムラの跡に佇めば、5000 年前と変わらぬ風景を追体験できる。

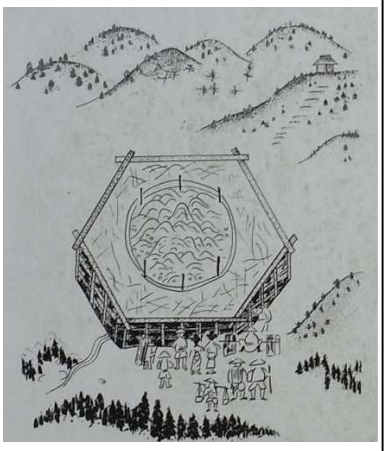
笹山じょうもん市で賑わう笹山遺跡

３　縄文時代から今に続く雪国文化

火焔型土器を生み出した縄文人の暮らしは、雪国の知恵の中に垣間見ることができる。雪国の民具がその一つ。江戸時代に鈴木牧之が『秋山記行』で紹介した「編衣」（アンギン）は、植物の繊維を用いて編んだ衣類として知られる。日本各地の縄文土器の底にアンギンの編み跡が確認されるなどしているものの、生活の中で近年まで使われ続けていたのは、秋山郷をはじめとする信濃川流域だけである。自然と共生し、雪国の自然資源を巧みに利用した知恵と技術が、この地では現在まで続いている。雪国の文化を何世代にもわたり後世に伝えているこの地域の人々は、まさに今も縄文文化の知恵の中で暮らしているのである。

「編衣」（アンギン）

また、信濃川とその支流は、縄文時代から現在にいたるまで、豊かな漁場となっている。ひろがる広葉樹林からの養分が信濃川に入り、魚類を育んでいるためである。信濃川水系で生まれた鮭は外洋を回遊し、ふるさとの川へ産卵に戻る。それは縄文時代から今も変わらない。本格的に雪が降り始める前に信濃川を遡上する鮭は、縄文人にとっても、重要な食料資源のひとつであった。火焔型土器には鮭を煮炊きしたと思われる焦げ跡が残っている。信濃川河口に近い新潟市的場遺跡出土品も、古代に鮭漁が盛んだったことを物語っており、古代以降、鮭は越後の国の税目に挙げられていた。信濃川流域の各地域には川漁に関わる民具が伝えられている。


煮坪（新津石油遺産）

自然資源を巧みに利用して暮らしてきた縄文人は、矢じりなど狩りの道具をつくる時などに、天然アスファルトを接着剤として用いる知恵も持っていた。天然アスファルトは日本海側に多く産出され、煮坪など信濃川沿いの丘陵で今でも湧出している。

火焔型土器のモニュメント（長岡市大手通）

信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。縄文の昔から人々を養ってきた山・川・海の幸、加工や保存の知恵。地方色豊かな郷土料理、酒や味噌・醤油など発酵食品の製造技術。あるいは、豪雪環境が生み出したアンギンや火焔型土器の技を継承するような、モノづくり、習俗など。

そして雪国を象徴する火焔型土器は、モニュメントとしても信濃川流域に多数あり、現代の暮らしの中に生きている。

（様式３－１）

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称（※１）	指定等の状況（※２）	ストーリーの中の位置づけ（※３）	文化財の所在地（※４）
1	信濃川（しなのがわ）	未指定	総延長 367 kmの日本一長い川である。３万年前からこの流域で人が暮らし始めた。河川舟運と漁業によって流域の人の暮らしをつなぎ支えたが、ひとたび氾濫すると甚大な被害をもたらした。	新潟市～津南町
2	信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群（しなのがわじょうりゅういきじょうもんじだいそうそうきいせきぐん）	未指定	世界最古級の土器を作り始めたころの遺跡。信濃川上流域には日本有数の密集度で縄文時代の遺跡が点在している。	十日町市・津南町
3	信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群出土品（しなのがわじょうりゅういきじょうもんじだいそうそうきいせきぐんしゅつどひん）	未指定	世界最古級の土器とその作り手が作り出した石器群	十日町市・津南町
4	久保寺南遺跡出土品（くぼでらみなみいせきしゅつどひん）	県有形（考古資料）	世界最古級の土器の作り手の登場。土器は化学変化を利用した画期的な発明であり、その後の生活様式に大きな変化をもたらした。	十日町市
5	卯ノ木遺跡（うのきいせき）	未指定	最古の縄文土器に続く縄文時代早期の遺跡。 草創期遺跡群の範囲内にあり、押型文と呼ばれる特徴的な文様の土器が出土。自然と共生した暮らしが継続していることを示し、縄文人たちがみた信濃川を望む風景を今も見ることができる。	津南町
6	割野遺跡（わりのいせき）	未指定	最古の縄文土器に続く縄文時代早期の遺跡。押型文と呼ばれる特徴的な文様の土器が出土し、さらに火焔型土器も出土している。	津南町
7	堂尻遺跡（どうじりいせき）	未指定	世界最古級の土器が出土した遺跡。また、王冠型土器も出土している。	津南町
8	笹原遺跡（ささはらいせき）	未指定	信濃川右岸の河岸段丘上に位置する自然と共生した最古の縄文土器に続く土器の作り手たちの遺跡。明治時代から知られている遺跡で、縄文人たちがみた信濃川を望む風景を今も見ることができる。	津南町
9	上原Ｅ遺跡（かみはらいせき）	未指定	河岸段丘上に位置し、世界最古級の土器が出土した遺跡。土器が作られる前の黒曜石製石器群も出土し、信濃川を介した南北の交流を示す。縄文人たちがみた信濃川を望む風景を今も見ることができる。	津南町
10	胴抜原遺跡群（どうぬきはらいせきぐん）	未指定	縄文時代草創期の遺跡で、最古の土器が出土する遺跡の１つ。日本でも類をみない大形の石器も出土している。縄文人たちがみた風景を今も見ることができる。	津南町
11	笹山遺跡出土品（ささやまいせきしゅつどひん）	国宝（考古資料）	大規模な集落跡から出土した多数の火焔型・王冠型土器、石器類、土偶などがある。火焔型土器の文化の特色を	十日町市

			よく示している。信濃川上流域を代表する資料である。	
12	幅上遺跡出土品（はばがみいせきしゅつどひん）	市有形（考古資料）	大規模な集落跡から出土した火焔型・王冠型土器をはじめ多数の土器、石器類、土偶などがある。笹山遺跡と並ぶ、信濃川上流域を代表する資料である。	十日町市
13	馬高遺跡出土品（うまたかいせきしゅつどひん）	国重文（考古資料）	命名の由来となった「火焔土器」第一号のほか、火焔型土器や王冠型土器などの土器群、多様な石器類、信仰に関わる土偶や石棒などがある。火焔型土器の文化の特色をよく示している。	長岡市
14	岩野原遺跡出土品（いわのはらいせきしゅつどひん）	未指定	大規模な集落跡から出土した多数の火焔型・王冠型土器、石器類、土偶などがある。馬高遺跡と並ぶ、信濃川中流域を代表する資料である。	長岡市
15	栃倉遺跡出土品（とちくらいせきしゅつどひん）	市指定（考古資料）・未指定	火焔型土器のほか、火焔型土器に後続してつくられた栃倉式土器や大形の土偶などがある。馬高遺跡と並ぶ、信濃川中流域を代表する資料である。	長岡市
16	徳昌寺遺跡等出土品（とくしょうじいせきとうしゅつどひん）	市有形（考古資料）	与板地域の遺跡から出土した火焔型土器・王冠型土器等で、信濃川中流域の特色をよく示している。	長岡市
17	門の沢遺跡出土品（もんのさわいせきしゅつどひん）	市有形（考古資料）	三島地域の遺跡から出土した火焔型土器。	長岡市
18	堂平遺跡出土品（どうだいらいせきしゅつどひん）	国重文（考古資料）	火焔型土器・王冠型土器がほぼ完全な状態で残って出土し、当時の造形技術を今に伝える。信濃川上流域を代表する資料である。	津南町
19	道尻手遺跡出土品（どうじっていせきしゅつどひん）	町有形（考古資料）	火焔型土器をはじめ、多様な縄文土器や県内有数の土偶の出土量を誇り信濃川上流域を代表する資料である。	津南町
20	沖ノ原遺跡出土品（おきのはらいせきしゅつどひん）	県有形（考古資料）	火焔型土器をはじめ、石器、土偶、クッキー状炭化物など縄文人の食生活、精神文化など縄文文化を伝える貴重な資料である。	津南町
21	吉野屋遺跡出土品（よしのやいせきしゅつどひん）	未指定	信濃川中・下流域の火焔型土器文化の大集落で、火焔型土器や王冠型土器とともに県内最多級の数を誇るかわいらしい顔をした縄文時代中期の土偶などの出土品がある。	三条市
22	長野遺跡出土品（ながのいせきしゅつどひん）	未指定	信濃川中・下流域の火焔型土器文化の大集落で、火焔型土器や王冠型土器とともに福島県会津の影響を受けた土器などの出土品がある。	三条市
23	大沢遺跡出土品（おおさわいせきしゅつどひん）	未指定	信濃川下流の角田山麓に広がる縄文時代の集落跡。中期前葉に特に遺物量が多く、火焔型土器も出土している。ゼンマイ・ヤマノイモ・ソバなどの花粉や胞子が検出され、当時の人々が様々な植物を食料資源として利用していたことがうかがえる。	新潟市
24	秋葉遺跡出土品（あきはいせきしゅつどひん）	未指定	信濃川下流の右岸側、新津丘陵北端の台地に立地する縄文時代中期～後期の集落跡。王冠形土器を含む縄文時代	新潟市

			中期後半を中心とする多数の土器などが発見されている。	
25	馬高・三十稲場遺跡（うまたか・さんじゅういなばいせき）	国史跡	縄文時代中・後期の大規模な集落跡。中期の馬高遺跡は、多数の竪穴住居が環状に巡る、信濃川中流域の典型的な縄文集落である。火焔型土器がつくられた当時の竪穴住居が復元されており、縄文時代の佇まいを体感できる。	長岡市
26	栃倉遺跡（とちくらいせき）	市史跡	信濃川中流域にある縄文時代中期の大規模な集落跡。多数の竪穴住居が環状に巡り、平面卵形の特徴的な住居形態がみられる。	長岡市
27	笹山遺跡（ささやまいせき）	市史跡	縄文時代中・後期の大規模な集落跡。多数の竪穴住居が馬蹄形に巡る、信濃川上流域の典型的な縄文集落である。火焔型土器がつくられた当時の竪穴住居が復元されており、縄文時代の佇まいを体感できる。	十日町市
28	沖ノ原遺跡（おきのはらいせき）	国史跡	火焔型土器を生み出した信濃川上流域の縄文時代を代表的する環状集落跡の遺跡である。	津南町
29	堂平遺跡（どうだいらいせき）	未指定	信濃川上流域の縄文時代中・後期の大規模な集落跡。火焔型土器とともに多数の竪穴住居や環状列石という縄文人の精神文化を表すモニュメントをもつ縄文集落である。	津南町
30	道尻手遺跡（どうじっていせき）	未指定	縄文時代中・後期の大規模な集落跡。火焔型土器が出土し、多数の竪穴住居が円形に巡る、信濃川上流域の典型的な縄文集落である。	津南町
31	上野遺跡・同出土品（うえのいせき・どうしゅつどひん）	未指定・ 町有形 （考古資料）	竪穴住居と大形の中空土偶が出土した縄文時代前期の遺跡。出土した土偶は、中が空洞でお腹が膨らみ妊婦だが、お腹が割られているのが特徴で縄文人の精神文化を見ることができる。	津南町
32	上野スサキ遺跡（うえのいせき）	未指定	縄文時代中期・後期の集落跡の遺跡。竪穴住居や墓、貯蔵穴がみつかっており、当時の保存技術などを垣間見えることができる。	津南町
33	八反田遺跡（はったんだいせき）	未指定	信濃川左岸に位置する縄文時代後期・晩期の集落遺跡。注口土器と呼ばれる土瓶のような土器が出土し、その底部にはアンギン編み圧痕がみてとれる。また、クリも出土している。	津南町
34	南原遺跡（みなんばらいせき）	未指定	信濃川左岸に位置する縄文時代前期～後期の集落遺跡で、土偶が出土し、縄文人の精神文化を垣間見ることができる。明治時代から知られており、現在も地中に残されており、火焔型土器のムラが眠っている可能性がある。	津南町
35	反里口遺跡（そりぐちいせき）	未指定	火焔型土器が出土している縄文時代中期の遺跡。古くからその存在が知られているが、そのほとんどが地中にまだ集落が眠っている。信濃川の支流中津川のほとりに位置し、縄文人たちがみた風景が今もみることができる。	津南町

36	正面ヶ原Ａ遺跡	未指定	縄文時代後期・晩期の集落遺跡。竪穴住居のほか、アスファルトが付着した石鏃や術的な道具、トチノミの水さらし場がみつかり、当時の木の実利用を見ることができる遺跡。	津南町
37	八木鼻第１号岩陰遺跡・第２号岩陰遺跡　同出土品	未指定	市指定名勝八木ヶ鼻にある浅い洞窟である岩陰。縄文時代草創期から弥生時代、平安時代に人が暮らした痕跡が残る。岩陰遺跡の壁面からは岩塩も採れるため、人も動物も集まってきたものと考えられる。	三条市・長岡市
38	吉野屋遺跡	未指定	信濃川中・下流域の火焔型土器文化の遺跡。谷に面した丘陵上にある大集落。	三条市
39	長野遺跡	未指定	信濃川中・下流域の火焔型土器文化の遺跡。信濃川支流の五十嵐・守門・駒出の３河川の合流点に位置し、市指定名勝八木ヶ鼻の絶景や粟ヶ岳、守門岳などの山々に抱かれた景観を間近に見ることができる。	三条市
40	河岸段丘群	未指定	およそ 40 万年以上かけて大地と川の働きにより形成された何段もの日本最大級の階段状の地形。この地形の特徴として湧水が点在する。このような地勢的環境を舞台に縄文文化が展開され集落や火焔型土器が作られた。	津南町
41	田代の七ツ釜	国名勝・天然記念物	信濃川とその支流が作り出した壮大な景観。縄文時代以来の原風景。川の右岸は縦の柱状節理、左岸は横の柱状節理という珍しい地形で、1㎞の間に滝や淵が連続する。	十日町市・津南町
42	清津峡	国名勝・天然記念物	信濃川とその支流が作り出した壮大な景観。縄文時代以来の原風景。切り立った岩壁が続く大渓谷で、渓谷トンネルから見える柱状節理の地形に圧倒される。	十日町市
43	龍ヶ窪	町名勝	豪雪の恵みによる豊富な水量を誇る湧水地。縄文時代遺跡が近接し、縄文時代以来の原風景を今に残す。	津南町
44	八木ヶ鼻	市名勝	信濃川支流の五十嵐川にそそり立つ高さ 180ｍの絶壁。ダイナミックな雪国の自然を体感できる。２万年前から人々のランドマークになっており、八木ヶ鼻自体にも縄文時代からの岩陰遺跡があり周辺に遺跡が多い。	三条市
45	佐潟	未指定	信濃川下流域の沖積地の砂丘列間に形成された潟湖。周辺に分布する縄文時代の遺跡からは石鏃などの狩猟具が出土し、潟湖に集まる動物や大型の水鳥を狩りの対象としていたことがうかがえる。	新潟市
46	鳥屋野潟	未指定	信濃川などが沖積地に運び込む大量の土砂によりその下流域に発達した砂丘列間に内水面が取り残されて成立した潟湖。その誕生は縄文時代に遡り、当時の景観をしのぶことができ	新潟市

			る。	
47	福島潟	未指定	信濃川下流域の沖積地の砂丘列間に形成された潟湖。近世から干拓が進んだが、なお 193ha の広さを誇る。国指定天然記念物オオヒシクイの越冬地として日本一の規模であり、オニバス自生地の北限でもある。	新潟市
48	弥彦山・角田山	未指定	越後平野の日本海側に位置する、標高 634mと 482mの山で、佐渡弥彦米山国定公園の一部。南側の山麓には、大沢遺跡をはじめとする多くの縄文遺跡が立地している。	長岡市・新潟市
49	美人林	未指定	信濃川上流域に残る、縄文の佇まいが感じられる美しいブナ林の景観。四季折々の表情が楽しめる。	十日町市
50	秋山郷及び周辺地域の山村生産用具	国重要有形民俗	縄文時代以来の編み技術であるアンギン関連資料ほか自然素材を利用した生産用具。信濃川上流域の山村の暮らしを体感できる。	津南町
51	秋山郷	未指定	中津川流域の渓谷に山村が点在する。縄文時代の遺跡もほぼ同じ場所にムラが形成されており、雪国山村の文化や風習を現代まで受け継がれている。縄文人が見た美しい自然景観も見ることができる。	津南町
52	桑原家保存民家	町有形（建造物）	築およそ200年以上と言われる茅葺民家。土間に地炉があり全国的にも珍しく、縄文時代の竪穴住居を想像させる。雪国山村の特徴を示した建物である。	津南町
~~53~~	~~十日町の積雪期用具~~	~~国重要有形民俗~~	~~縄文時代から脈々と受け継がれた雪国の知恵と技術を反映。冬の生活用具をはじめ、生業、娯楽、信仰、儀礼などに関する一大コレクション。雪国の暮らしぶりを体感することができる。~~	~~十日町市~~
~~54~~	~~越後縮の紡織用具及び関連資料~~	~~国重要有形民俗~~	~~縄文時代から脈々と受け継がれた雪国の知恵と技術を反映。近世における当地方の名産として知られた越後縮の製品や生産・流通に関する一大コレクション。織物の源流であるアンギン関係資料も貴重。~~	~~十日町市~~
55	的場遺跡・同　出土品	県史跡・県有形・市有形	信濃川河口付近に形成された砂丘上に立地する奈良～平安時代の官衙関連遺跡。管状土錘など、漁業関連の遺物が大量に出土した。出土した木簡に書かれた「杉人鮭」や「をの尓へ（魚の贄）」「狄食」の文字は、この地で鮭を捕獲・加工し、北方の蝦夷への「饗給」に利用したことを示す。	新潟市
56	王神祭	県無形民俗（民俗芸能）	信濃川沿いの金峰神社で、毎年 11 月５日に行われる年魚行事。信濃川で獲れた鮭を神主が直接手を触れず鉄箸と包丁で下し、鳥居の形に整えて神前に供える。古来より鮭が重要な資源であったことを物語る貴重な儀式であ	長岡市

			る。	
57	川漁関係資料	未指定 （民俗資料）	信濃川の豊かな流れは、魚貝類や水鳥をはじめとする多くの生命を育んできた。川漁でとれる魚は、栄養源として、また商品として、人々の生活を支えてきた。	十日町市
58	新津石油遺産（煮坪など）	市史跡	信濃川下流右岸側の新津丘陵にある石油関連遺産。周辺の縄文時代遺跡では、接着剤として活用したアスファルト塊を交易品としていたことから、古くから原油やアスファルトが自然に湧出していたことがわかる。	新潟市
59	大沢谷内遺跡	未指定 （史跡）	信濃川と新津丘陵にはさまれた沖積微高地上に立地する縄文時代晩期の集落跡。多量のアスファルト付き遺物やアスファルト塊が出土しており、古くから石油資源を活用していたと推測される。	新潟市
60	藤橋遺跡・同　出土品	国史跡・ 未指定 （考古資料）	縄文時代晩期の大規模な集落跡で、高床式の掘立柱建物が特徴的。出土品には藤橋式土器のほか、天然アスファルトの付着した石鏃が多数出土し、石油関連資源の利用がうかがわれる。	長岡市
61	上野原遺跡・同　出土品	未指定 （史跡）・ 市有形 （考古資料）	沖積地を見渡せる台地上にある縄文時代晩期の遺跡。大形の竪穴住居から縄文土器とともに呪術的な道具が大量に出土した。アスファルトが付着した矢じりが出土している。	三条市
62	赤松遺跡・同　出土品	未指定 （史跡・考古資料）	縄文後期・晩期の遺跡で、矢じりとその製作途中のかけらが多量に出土した。乳白色の玉髄製のものが多く石材産地に立地する矢じりの製作工房址と考えられる。アスファルトが付着した矢じりも出土している。	長岡市 三条市

（※１）文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

（※２）指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文、県有形、市無形、等）。

（※３）各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

（※４）ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）

構成文化財の写真一覧

１　信濃川

２　信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群
（壬遺跡・田沢遺跡）

２　信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群
（本ノ木遺跡）

３　信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群
出土品
（干溝遺跡出土品）

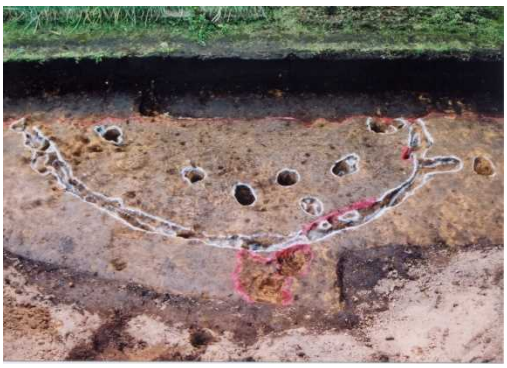
３　信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群
出土品
（卯ノ木南遺跡出土品）（小川忠博氏撮影）

３　信濃川上流域縄文時代草創期遺跡群
出土品
（本ノ木遺跡出土品）（小川忠博氏撮影）

4　久保寺南遺跡出土品

5　卯ノ木遺跡

6　割野遺跡



7　堂尻遺跡

8　笹原遺跡

9　上原Ｅ遺跡

10　胴抜原遺跡群

11　笹山遺跡出土品

12　幅上遺跡出土品
（小川忠博氏撮影）

13　馬高遺跡出土品

14　岩野原遺跡出土品

15　栃倉遺跡出土品

16　徳昌寺遺跡等出土品

17　門の沢遺跡出土品

18　堂平遺跡出土品
（小川忠博氏撮影）

19　道尻手遺跡出土品
（小川忠博氏撮影）

20　沖ノ原遺跡出土品
（小川忠博氏撮影）

21　吉野屋遺跡出土品
（小川忠博氏撮影）

22　長野遺跡出土品
（小川忠博氏撮影）

23　大沢遺跡出土品

24　秋葉遺跡出土品

25　馬高・三十稲場遺跡

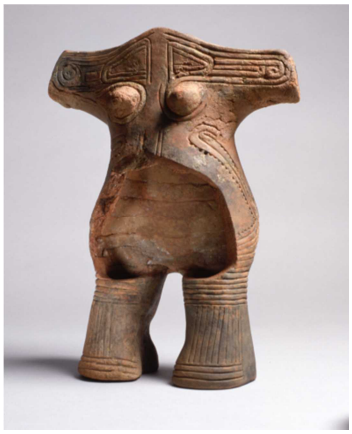
26　栃倉遺跡

27　笹山遺跡

28　沖ノ原遺跡

29　堂平遺跡

30　道尻手遺跡



31　上野遺跡・同出土品

32　上野スサキ遺跡

33　八反田遺跡

34　南原遺跡

35　反里口遺跡

36　正面ヶ原Ａ遺跡

37　八木鼻第１号岩陰遺跡・
第２号岩陰遺跡　同出土品
（八木鼻第１号岩陰遺跡）

37　八木鼻第１号岩陰遺跡・
第２号岩陰遺跡　同出土品
（八木鼻第２号岩陰遺跡）

38　吉野屋遺跡

39　長野遺跡

40　河岸段丘群

41　田代の七ツ釜

42　清津峡

43　龍ヶ窪

44　八木ヶ鼻

45　佐潟

46　鳥屋野潟

47　福島潟

48　弥彦山・角田山

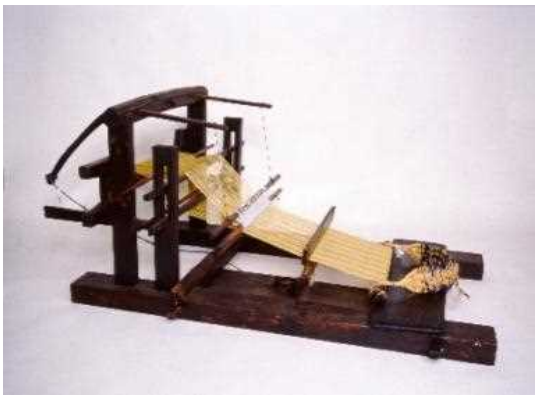
49　美人林

50　秋山郷及び周辺地域の山村生産用具

51　秋山郷

52　桑原家保存民家

~~53　十日町の積雪期用具~~



~~54　越後縮の紡織用具及び関連資料~~

55　的場遺跡・同　出土品

56　王神祭

57　川漁関係資料

58　新津石油遺産（煮坪など）

59　大沢谷内遺跡

60　藤橋遺跡・同　出土品

61　上野原遺跡・同　出土品
（小川忠博氏撮影）

62　赤松遺跡・同　出土品